

つきたては おいしいぞ!



平成29年1月1日現在	総世帯数	1,834 世帯
	総人口	3,725 人
	男	1,819 人
	女	1,906 人

あそびの城 もちつき大会

子ども会育成会
副会長 山本真由美

小さい子から小学校6年生までの子どもたちと地域の方が参加して、餅つき大会が去る12月3日(土)に行われました。

「ここ数年は多文化共生ふれあいパーティーの一部として餅つきを行っていました。今回は子ども会育成会事業として、単独で開催されました。全部で5臼つきしましたが、大勢の方にご協力いただきました。子どもたち全員についてもらうため、途中でもち米が冷めて、まとまらないのではないかと心配もしましたが、どうにか終わりました。私も手返しをさせていただきました。

これまでは、餅を全部つき終わってから一斉に食べてもらっていました。今年つき立てのお餅を味わってもらおうと、手の空いた子から食べてもらいました。

つき立てのお餅は、格別なものがあります。きな粉、ごま、海苔で美味しくいただきましたが、大人からは「大根おろしが食べたかった」との



声も：

駐車場の一角には昔ながらの遊び、羽子板、こまなどが置かれ、楽しんでる姿も見られました。

「おいしかった」と答えてくれた子どもたちの笑顔に、疲れも吹き飛びました。

もちつき大会に 参加して

渚宮本 藤原 昇平

12月3日、もちつき大会に参加しました。僕は6年生なので、最初に会長ともちをつくポーズをして開会セレモニーを終えました。

その後、高学年から低学年へ順にもちをついていきました。僕はもちつきを保育園以

来やったことがなかったの
で、とてもワクワクしていま
ました。友だちがついたあとつ
きました。きねは少し重くて
バランスが取りにくかったで
す。そのため、きねでうすを
何回もたたいてしまいました
た。でも、最後はきちんと「も
ち」をつくことができたので
良かったです。

そして、楽しみだった昼食。
味は、ごまときなこと、しょ
う油をのりで巻いたものでし
た。好きな味ばかりだったので、たくさん食べました。お
いしかったです。

中学生になるといそがしく
なり、地域の行事には参加で
きなくなると思うので、参加
できて良かったです。



田川百景

旧松電西松本変電所



上高地線西松本駅にあった古い建物です。子供のころは「お化け屋敷」みたいに思え、近寄りたがたい建物でした。大正 13 年ごろに建てられ、昭和 32 年には稼働を停止し、以降は寮や倉庫として使われたそうです。平成 26 年 7 月に老朽化もあり取り壊されてしまいました。田川地区に古くからある建物が少なくなり、少し寂しい気もしました。

【渚町 齋藤辰也】

やしよま 交流会



12月20日(火)「やしよま交流会」が田川公民館で開催され、田川小学校の1年生と地域のみなさんが伝統食のやしよまづくりを通じて交流しました。



「たのしい。おいしい。やしよまづくり。」
「やしよまって何?」「どうやって作るの?」「どんな味がするの?」一年生は興味津々。この日を楽しみにして

いきました。地域の方と一緒に作り始めました。順番に生地を伸ばし、伸びない子どもたち。「こうやってやるんだよ」と、地域の方に優しく教えていただきました。花びらの形に整えた



松本市内に点在する施設、松本市立博物館、松本民芸館、馬場家住宅の三力所を見学し

松本を学ぶ博物館めぐり
町内公民館長・町会役員合同研修会
去る12月11日(日)に、田川地区の町内公民館長および町会役員の見学研修会が行われました。

り、生地を切ったりする子どもたちは、ずっと笑顔でした。生地を切って出てきた花の模様を見た時に、子どもたちは一番盛り上がっていました。できたてのやしよまを、「甘くておいしい」「4個も食べちゃった」と、とても美味しかったです。

楽しい思い出となったやしよま作り。公民館の方々に細かい準備をいただいたおかげです。昔から伝わるやしよまを知ることで、とてもよい学習になりました。
(田川小学校1年1組担任 玉沢恵美子)



松本市では、市立博物館を中心に「松本まるごと博物館」のキャッチフレーズのもと、松本市域を「屋根のない博物館」として、環境そのものを博物館とする開かれた博物館事業が行われています。当日は、晴れたものの大変寒さの厳しいなか、各施設とも担当の方から丁寧な解説をいただき、おおいに理解の助けとなりました。



田川地区のシンボルマーク

このほど田川地区のシンボルマークが決定し、町会連合会より公表されました。このシンボルマークは、公募に応じた33作品のなかから最優秀賞に選ばれたものです。作者は渚本郷の奥原利明さんで、田川地区を象徴する水のイメージや「田川」の二文字を表現したデザインが高く評価されました。

田川地区のシンボルマーク決まる
(渚宮本公民館長 浅輪 学)

市立博物館では、松本の原から現在までの歴史を知り、民芸館では、「美しいものは美しい」という故丸山太郎氏の言葉を実感し、馬場家住宅では、昔の家は本当に寒かったらうことを体感しました。まさに、環境そのものが博物館だということを感じることできた良い研修会となりました。